

(4) 日本食の普及

- フィンランドの日本食を提供するレストランは少なくとも200店舗(当館調べ)。中華系寿司店が急増。
- フィンランドにおける日本食材普及は、独英仏など西欧での流行を追いかける形で進展。特に米は手の届きやすいスーパーの寿司コーナーで利用されることとなったため急激に拡大。2019年～2021年は英国に次ぐ欧州2位の輸出先国となっていた。現在も上位を維持しており、人口ベースでは欧州1位。
- 近年の日本食ブームにより、市内のスーパーマーケットでも日本食材(米酢、醤油、そば(乾麺)、インスタントヌードル、ビール等)が購入できるようになっている。

商業用米(日本米)の輸出実績(日本→ヨーロッパ)

| | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 人口 2023年 (万人) | 2023年 人口1万人 当たり (キロ) |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------------------------------|
| | 数量(t) | 数量(t) | 数量(t) | 数量(t) | 数量(t) | | |
| イギリス | 450 | 451 | 332 | 526 | 587 | 6,835 | 85.88 |
| フィンランド | 183 | 188 | 216 | 190 | 159 | 558 | 284.95 |
| ドイツ | 140 | 144 | 185 | 239 | 582 | 8,448 | 68.89 |
| オランダ | 102 | 110 | 92 | 93 | 293 | 1,788 | 163.87 |
| フランス | 93 | 112 | 173 | 237 | 395 | 6,817 | 57.94 |
| スペイン | 31 | 7 | 13 | 87 | 544 | 4,837 | 112.47 |
| スイス | 11 | 24 | 57 | 60 | 243 | 885 | 274.58 |

出典:財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く。)



フィンランドに寿司通り(Sushi-kuja)という住所が誕生!

- ・2024年5月29日、ヤルヴェンパー市が、日本食材を多く扱い、日本米を使用した寿司のはかり売りを行う大型スーパーマーケット「Kシティーマーケット・ヤルヴェンパー店」に面する通りを「寿司通り」と命名。これは、同店がIGDアワードの「ストア・オブ・ザ・イヤー2019」(※)を受賞し、寿司の名所としての知名度を上げた功績を同市が讃えたことによります。
- ・同年10月24日には、同店店長マルック・ハウタラ氏に在外公館長表彰が授与されました。ハウタラ氏は、フィンランドの寿司ブームの火付け役として、日本の和牛や日本の調味料など多く取り揃え、また日本食材のプロモーションイベントに積極的に貢献下さっています。(注)英国に本拠を置くIGD(Institute of Grocery Distribution)が毎年、全世界約1,000店舗を訪問して分析したレポートに基づき、食品、消費財業界の最優秀賞を表彰するイベント。